

2019 全日本登山 コースD 御嶽山 下見 報告書

2018/11/5 川重山岳部 山本

登山地 御嶽山
 実施日 2018年10月8日(月)
 メンバー [市役所]加藤、藤嶋、
 [川重]小木曾、羽尻、佐藤、山崎、山本、近藤、辰見
 コース 濁河温泉～飛驒頂上(五の池小屋)～摩利支天
 ～飛驒頂上(五の池小屋)～濁河温泉
 天候 晴れ

行 動

4:30	岐阜/各務原出発 (車)	
8:00/8:20	濁河温泉登山口	3 時間 10 分
9:20/9:30	湯の花峠	
10:30/10:35	8 合目(お助け水)	
11:30/11:40	飛驒頂上(五の池小屋)	1 時間 50 分
12:40/13:00	摩利支天	
13:30/13:45	飛驒頂上(五の池小屋)	2 時間 35 分
14:20/14:30	8 合目(お助け水)	
16:20	6 合目(原生林遊歩道入口)	
	御嶽濁河高地トレーニングセンター(濁河) (車) (挨拶、入浴)	
	ひだホテルプラザ/高山市民文化会館(高山) (車)	
21:30 頃	岐阜/各務原着 (車)	

《登山道》

- ・ 登山口付近の2018/7月豪雨後に新設された新道は、よく整備されており問題ない。(4ページの「新設ルートマップ」参照。)
- ・ トレーニングセンターから出発の場合、センター近くの「原生林遊歩道」入口から入ると良い【写真1】。「新設ルートマップ」の③で登山道に合流する。
- ・ 樹林の中は、丸太を並べた木道が多く、特に湿っていると非常に滑りやすいので、要注意【写真2】。
- ・ 登山口から五の池小屋まで、約100m置きに距離数を示す看板あり。登山口が「0」、五の池小屋が「42」。【写真3】
- ・ 8合目を過ぎて森林限界を超えると眺望が開け、北に乗鞍、西に白山も望める。【写真4】



【写真1】「原生林遊歩道」入口



【写真2】樹林帯の木道



【写真3】距離数を示す看板



【写真4】飛騨頂上付近から西方の眺望

《休憩場所》

- ・ 湯ノ花峠： 10～15 名程度。
- ・ 8 合目(お助け水)： 20 名程度。水は無い。
- ・ その他、適宜登山道脇で休憩可能。

《トイレ》

- ・ 登山口:個室 男 1、女 2 【写真5】
(原生林遊歩道から入る場合ここは通らない。)
- ・ 五の池小屋: 男 小 2、個室 1 (協力金 100 円)
- ・ ⇒出発前に、スポーツセンターで済ませるように案内する必要あり。



【写真5】登山口のトイレ

《全般》

- ・ 今回下見は、オプションの摩利支天の往復を行ったが、本番の行動時間を考えると、飛騨頂上までの往復とするべきである。
- ・ 一般登山者の歩行速度、及びスポーツセンター(S/C)までの車道歩き(6~700m)を考慮すると、
(往路)4時間、(頂上)0.5時間、(復路)3.5時間程度を見ておきたい。(⇒計8時間)
- ・ S/C 7:00 出発 - (8時間) → S/C 15:00 到着、(バス移動)⇒高山 17:00 着で、なんとかギリギリである。余裕を見て6:00 出発にしたい。
- ・ 引き返し時刻を厳格に定め、頂上に届かない場合でも引き返すようにする必要あり。

《御嶽濁河高地トレーニングセンター》 (<http://www.hida-athlete.jp/guide/facility02.html>)

- ・ 朝食は、7:00 以降。それより早い時間希望の場合は、弁当化も含め、応相談。
- ・ 昼弁当は、事前予約可。
- ・ 夕食は、18:00~19:30。
- ・ 和室及び洋室あり。(貸切ではないので当日の状況にもよる。)
- ・ 浴室は、洗い場6か所。時間をずらして利用した方が良い。
- ・ 施設として管理が行き届いており、清潔感もあり。



宿泊室エリア



食堂

スポーツセンター

原生林遊歩道 入口



新設ルートマップ

区間: 1.3km ・ 30分
自然探勝路

※登山口から飛騨里宮方面の旧登山道は仙人橋上り前まで通行止となっています。

